

平成 30 年度都市・地域交通戦略推進事業（国庫補助）について

1 概要

平成 27 年度以降、本協議会が実施主体となり、協議会向けの国の補助金「都市・地域交通戦略推進事業補助金」を受けて、富山港線軌道複線化事業や路面電車南北接続第 2 期事業など、公共交通活性化の検討・整備を進めてきた。

引き続き平成 30 年度についても、本協議会が実施主体となり、都市・地域交通戦略推進事業補助金を活用し、路面電車南北接続第 2 期事業などに取り組む。

2 平成 30 年度事業の要望額について

表 平成 30 年度 都市・地域交通戦略推進事業の要望額

事業名	平成 30 年度要望額（単位：千円）		
	事業費	国費	補助率
路面電車南北接続第 2 期事業	680,000	340,000	1/2
市内電車上滝線乗入実現可能性検討	16,000	8,000	1/2
計	696,000	348,000	

3 平成30年度事業の内容について

(1) 路面電車南北接続第2期事業 680,000千円

①軌道施設工事 678,000千円

平成31年度末完成を目指し、平成30年度から、軌道施設工事（停留場、レール、架線柱、電車線、軌道信号等の整備）に着手する。

図 南北接続第2期事業平面図

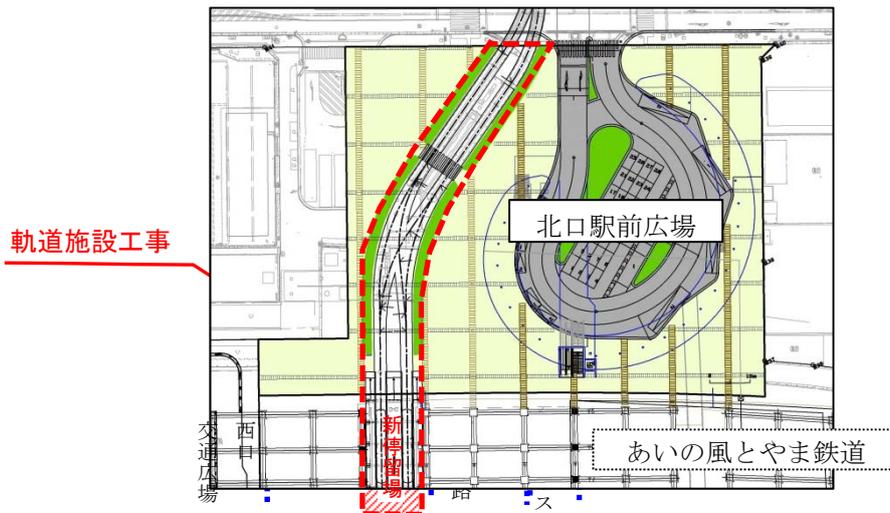


図 南北接続第2期スケジュール

項目	平成29年度				平成30年度				平成31年度				平成32年度			
	①	②	③	④	①	②	③	④	①	②	③	④	①	②	③	④
南北接続 (第2期)	工事施行認可 (法的手続き)	実施設計・積算		▼申請	▼認可											
	軌道施設工事				▼工事着手								▼完成			

南北接続第2期事業については、軌道法に基づく工事施行認可を平成29年10月に申請したところであり、平成30年度に国の認可が下り次第、工事に着手したいと考えている。

②路面電車南北接続後の運行について

路面電車南北接続後の運行形態や運賃体系については、市と交通事業者で協議を進めてきた結果、路面電車サービスのさらなる質の向上、運転の一元化及び全線均一運賃の導入を目指すことで合意した。

なお、運転の一元化により、質の高いサービスが将来にわたり持続的に提供されることで、路面電車の利用者が大幅に増加することが期待されるとともに、事業の継続性も高まるものと考えている。また、中心市街地の活性化に加えて、市

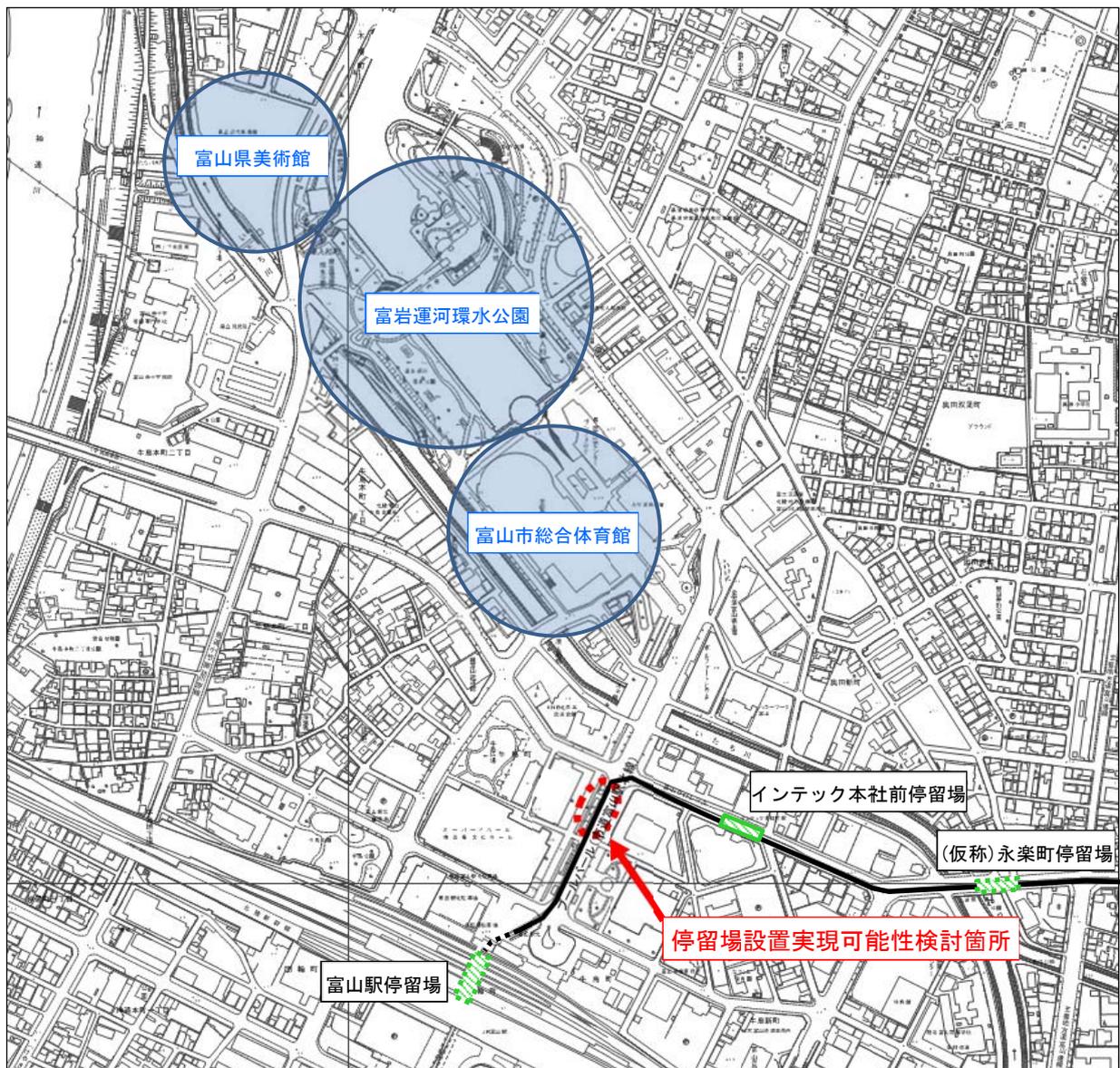
民の健康の増進やコミュニティの醸成など、市民やまち全体に対する多様な効果も期待できるものと考えている。

今後、交通事業者と詳細な検討を進めるとともに、必要となる法的手続きについて、国との協議を行う。

②仮称ブルーバール停留場設置実現可能性検討 2,000千円

路面電車南北接続事業において富山駅北停留場を在来線高架下へ移設（富山駅停留場に名称変更）することにより、移設後の富山駅停留場～インテック本社前停留場間の距離が長くなること、並びに富山市総合体育館、富岩運河環水公園、富山県美術館などの公共施設へのアクセス向上の観点から、ブルーバール上において新停留場設置の可能性を検討する。

図 新停留場検討位置図



(2) 市内電車上滝線乗入実現可能性検討 16,000千円

・市内電車上滝線乗入実現可能性検討業務委託 16,000千円

平成29年度は、市内電車が富山地鉄上滝線へ乗入れた場合の技術的課題の解決策や収支採算性などについて検討している。

平成30年度は引き続き、過年度検討の深度化を図るとともに、既存の鉄道線の利用促進策の検討を行う。

図 市内電車上滝線乗入可能性調査位置図



写真 南富山駅現況

4 平成29年度事業の執行状況について

平成29年度事業については、事業費ベースで約9割が完了しており、富山港線軌道複線化工事に伴う撤去工事等について平成30年度に予算を繰越し継続する。

表 平成29年度 都市・地域交通戦略推進事業の執行状況

(単位：千円)

項目	事業費	国費
交付決定額	425,840	212,920
平成29年度未完成額	387,588	193,794
平成29→30年度繰越額	38,252	19,126